

令和5年度 年間指導計画

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	農業	科目	グリーンライフ	単位数	2	学年・学科	3学年・E科
教科書	実教出版「グリーンライフ」		副教材				

学習目標	農林業・農山村の特色を生かした生活体験を提供する活動に必要な知識と技術を習得し、地域資源の有用性を理解します。地域に根ざした事業の振興に寄与できる能力と態度を身に付けます。
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本校の学習林(防風林)等を活用しながら、農林業の特色や地域資源等に関する総合的な学習を行います。 ○ 森林空間の多面的利用として、公益的機能を活かし、さらに発揮させる森づくりの在り方や林産物生産活動の実際について学習します。

	評価の観点	評価の観点の趣旨	学期	重み付け	割合	
					調査	調査以外
学習評価	a 関心・意欲・態度	農林業・農山村の特色や地域資源に興味・関心を持ち、農林業・農山村の現状や課題の改善を目指して、主体的に取り組もうとする態度を身に付けている。図ろうとする創造的、実践的、意欲的な態度を身に付けている。	前期中間	25%	15	10
			前期末	25%	15	10
			後期中間	25%	15	10
			後期末	25%	15	10
	b 思考・判断・表現	農林業・農山村の特色や地域資源の活用に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識や技術を基に諸課題を合理的に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	前期中間	25%	15	10
			前期末	25%	15	10
			後期中間	25%	15	10
			後期末	25%	15	10
	c 技能	農林業・農山村の特色や地域資源の活用に関する基礎的な技術を身に付け、それらを活用した交流活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	前期中間	25%	15	10
			前期末	25%	15	10
			後期中間	25%	15	10
			後期末	25%	15	10
d 知識・理解	農林業・農山村の特色や地域資源の活用に関する基礎的な知識を身に付け、農林業・農山村の特色や地域資源重要性を理解している。	前期中間	25%	15	10	
		前期末	25%	15	10	
		後期中間	25%	15	10	
		後期末	25%	15	10	

学期	単元名(題材)	学習内容(小単元)	評価の観点				単元の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間	第1章 グリーンライフとは 1 人間生活とグリーンライフ (1)ながく自然のなかで暮らしてきた人間 (2)私たちの暮らす社会 (3)グリーンライフとは 2 農山村と都市の現状と変化 (1)農山村の現状と変化 (2)都市の現状と変化 (3)農山村と都市の連携	<ul style="list-style-type: none"> ○人間も自然の一部であり、同時に地域のコミュニティに根ざして生活していることを理解します。 ○岩手県の林業・山村の特色や地域資源の重要性について理解します。 ○森林空間利用の観点からグリーンライフを理解します。 ○農山村および都市の歴史や役割の変化について理解します。 ○農山村における自然と共生した暮らしについて理解します。 ○都市での農的空間の現状と意義について理解します。 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> a 農林業・農山村の特色や地域資源に興味・関心を持ち、その今日的な現状と課題について探求しようとしている。 b 新たな社会の価値観を理解し、興味・関心をもち、グリーンライフについて思考を深める。 a 農山村の現状と変化について理解し、様々な観点から課題を明らかにしようと思いを深める。 b 都市部における農的空間の意義と関連づけ、その課題改善を目指して思考を深め、合理的な判断と適切な表現ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・発問評価 ・授業ノート ・小テスト ・定期調査
前期末	3 地域社会の変化と社会的企業活動 (1)地域社会の現状と課題 (2)地域社会における課題解決に向けて (3)社会的企業家	<ul style="list-style-type: none"> ○地域社会、コミュニティの変化と現状・課題について理解します。 ○社会を支える公共、社会・経済活動について理解します。 ○社会的企業家について理解します。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> a 地域社会、コミュニティの変化と現状・課題に関する知識を身に付け、課題解決のために講じられている方策として公共、社会・経済活動について理解している。 b 地域社会の現状と課題を理解し、課題の解決に向けて思考を深め、合理的に判断し、その過程を適切に表現することができる。 c 社会的起業家について理解し、身近な地域ではどのような起業が可能か思考を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・発問評価 ・授業ノート ・実験レポート ・実験態度 ・定期調査

後 期 中 間	<p>第2章 農林業・農山村の魅力と地域づくり</p> <p>1 農林業・農山村の魅力</p> <p>(1) 農林業の魅力</p> <p>(2) 農山村の魅力</p> <p>(3) 新たな魅力づくり</p> <p>2 身近な地域資源の発見と活用</p> <p>(1) 地域資源の発見</p> <p>(2) 地域資源の保全と活用</p> <p>(3) 地域での暮らしと愛着</p>	<p>○農林業の特徴を知り、その魅力を理解します。</p> <p>○農山村の特徴を知り、その魅力を理解します。</p> <p>○林産物生産などを採り入れた新たな魅力を理解します。</p> <p>○岩手県の山村文化を調査して、地域資源を発掘し、資源の磨き方について理解します。</p> <p>○地域資源の保全と活用に関して、農村の暮らしの歴史から今を知り、これからの資源の様々な活用方法を理解します。</p>	○	○	○	○	<p>a 農林業の特徴と魅力に関する知識を身に付け、その活用方法について理解している。</p> <p>b 農山村の特徴と魅力に関する知識を身に付け、その活用方法について理解している。</p> <p>c 農林業と農山村の新たな魅力づくりに関して、その方策に関して思考を深め、合理的に判断し、適切に表現することができる。</p>	<p>・実習レポート</p> <p>・実習態度</p> <p>・定期考査</p>
後 期 末	<p>3 農山村の資源と景観の特質</p> <p>(1) 農山村の環境</p> <p>(2) 農山村の景観</p> <p>(3) 農山村の文化と人</p> <p>4 地域づくりとグリーンライフ活動</p> <p>(1) 地域づくりは</p> <p>(2) ワークショップの方法</p> <p>(3) 地域におけるグリーンライフ活動の進め方</p>	<p>○自然環境と人の活動がつくる農山村における環境の特徴について理解します。</p> <p>○自然環境と人の活動がつくる農山村における景観の特徴について理解します。</p> <p>○農山村の文化と人について理解します。</p> <p>○歴史や資源を生かした地域づくりの考え方を理解します。</p> <p>○ワークショップの方法について理解します。</p> <p>○人々の連携や役割分担の重要性など、地域づくりにおけるグリーンライフ活動の進め方を理解します。</p>	○	○	○	○	<p>a 身近な地域を調査して、地域資源を発掘し、地域資源の具体的な活用方法や磨き方に関する諸課題の解決を目指して思考を深めている。</p> <p>b 地域資源について基礎的な知識や技術を元に諸課題を合理的に判断し、その過程等を表現することができる。</p> <p>c 自然と共生する自然観や伝統文化などから思考を深め、アイデンティティと愛着を理解している。</p>	<p>・授業ノート</p> <p>・課題レポート</p> <p>・定期考査</p>